

2017年3月1日

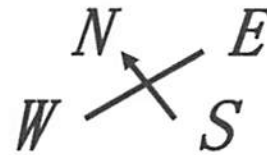
第274号

藤沢

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット



<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎/FAX 0466-87-4922

主
な
記
事

- ・ 福島「牧場」絵画で声を上げる
- ・ 地球温暖化と保田氏たちの未来
- ・ 環境問題と人権
- ・ 気象情報ジェット気流にまつわる話9

福島原発事故を忘れまい

2011年3月11日、東日本大震災が発生、マグニチュード9.0、最大震度7.0、最大40mにも上る遡上津波が東日本を襲い、死者・行方不明者18,000人余りに上った。東京電力福島第1原子力発電所は14~15mの津波に襲われ、全電源を失い、炉心溶融（メルトダウン）した。大量の放射性物質が放出され、最悪のレベル7（国際原子力事象評価尺度 深刻な事故）で、チェルノブイリ原発事故と同等と位置づけられた。約16万人の福島住民が県内外に避難し、6年経つ今も約8万人が避難生活を送っている。

世論調査では脱原発が多数であるに関わらず、原発再稼働をし、更に外国に原発を売りつける姿勢は亡国への道と言える。

この間の最大汚点は、年間許容放射線量を国際放射線防護委員会（ICRP）の年1ミリシーベルト(mSv)ではなく、年20ミリシーベルトに決めたことである。裁判も起こっているが、健康・いのちにとってトンデモナイことである。チェルノブイリ事故を起こしたロシアでは、1~5mSv未滿で移住の権利、5mSv~20mSvで移住の義務、20mSv以上で強制避難となっている。そのチェルノブイリでさえ31年たつ今も健康被害があり、保養活動が続いている。

福島では小児甲状腺がんはロシアより速足で増え続けて183人に上っている。それにも関わらず20mSv以下で避難解除が行われ、県外自主避難者への住宅補助は3月で打ち切られる。汚染された土地に帰って被爆するか、貧困生活に陥るかの非人道的な選択に迫られている。

横浜に避難している子どもへのいじめが問題になったが、どこでもその傾向があると聞く。温かく迎え入れる雰囲気がない。その原因の一つは、国は道路・建物復興工事に力を入れ、被災者生活再建は二の次、すなわち人権をおろそかにしていることと関係があるように思う。

(青柳節子)



石川の一角川沿いに見つけた桜並木

福島「牧場」 絵画によって声を上げる

20代から抽象的な絵を描いてきました。

2013年、福島で見てしまいました。東京電力福島第一原発事故で被ばくした肉牛300頭以上の飼育を続けている福島「牧場」の広大さ。事故の証拠として牛の命をいかすという牧場主の叫びを聞き、衝撃を受けました。馬の変死が続く飯館村の牧場にも通いました。どちらも線量がとても高い被曝の牧場です。

描いた作品は「牧場」(縦2.6m×横15m)

2016年、原爆の図 丸木美術館で発表しました。

「目に見えず、形もない放射能の怖さをどう表現すれば感覚に訴えられるだろうか、その怖さを可視化したい」そう悩みながら1年以上かけて描きました。

チェルノブイリでも見られた白班症の動物である1頭の牛、300頭以上の群れを描いています。2つがあってひとつの世界があるという要素を入れました。「弱い立場、苦しい立場の人の叫びを描き、見た人に何かを感じてほしい」そうやって描いているうち、声をあげる人の頭から、ペガサスが駆け出すのが見えました。それはサポートするみんなが声をあげていく、無駄な命なんてない、証拠として残すというたくさんの人の声をあげ世話をし続ける行動が、聖霊、不死の象徴ペガサスのような希望につながっていくのではないかと。絵を見ながらそういう事を思いました。

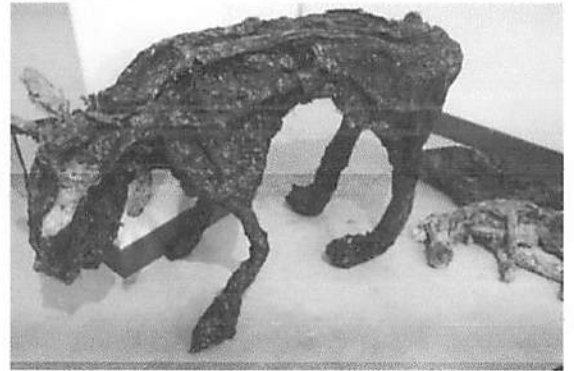
ロシアでシベリア抑留を忘れない文化交流の個展を続けてきましたが、絵に社会的なテーマなんて持ち込んではいけないと先輩方や画家仲間から言われてきました。自然エネルギーへの転換という世界の動きの中で、原爆にも原発事故にも被害を受けた日本に生まれた絵描きの私は、もつと出来る表現があるのではないかと。そう気がついたのは最近ですが、沖縄の辺野古や高江の運動も、福島の3月に自主避難者を帰還させる政策も、みんな「命よりお金」の政策。人が、自然が大切。その美しさを出していきたいのでは、と思っています。二本松に住む詩人の関久雄さんは、「原発反対、苦しいという声を誰も聞

〈低炭素都市ふじさわをめざして〉

かなかった。でも詩で心をよんでみたら人が集まってきた。せっぱつまっていて、出さざるをえない大きな動きが今福島みんなにある」と言っていました。沖縄の音楽家の方も、「平和のためにならない文化なんていない」と、その歴史背景が想像できるような事を言っていました。運動の中での文化、表現の役割を最近話す機会を得ていますが、他人事でなくなる力があるのではないのでしょうか。

そして、沖縄の人も福島の人も福島から避難した人も一緒に踊りを踊ったりすることから、大きな悩ましい権力に対し共闘する力をつけていくことが出来るのではないかしらと。私は未熟だけど、絵や表現にはその力がある。何より絵がとても好きなので、テーマを見つけて水を得たように毎日描いている日々です。

これからも牧場を、出会った人々を、希望を込めて描いていきたいです。



(3月に鎌倉でこれら牧場や運動する人々の個展をするのでもしよかったら見てください。3月11～20日 山内若菜展鎌倉ドロ잉ギャラリー)

山内若菜(画家)

環境問題と人権

環境問題はつきつめると人権と深くかかわっている。日中戦争、大東亜戦争、第2次世界大戦、ベトナム戦争を思い返せば一目瞭然だ。とりわけ始まったばかりの米・トランプ政権や安倍政権の反民主的・超右翼的戦争指向政策にはあきれるばかりだ。

平和を愛する私たちの想いに逆行している。

国民はしっかりと腹を据え、政治批判的姿勢を整えて「環境問題」に取り組まねばならない。日本の兵器製造、とりわけ毒ガス戦は、日本の軍・産・学が結託

した負の遺産である事に間違いはない。今号では「記憶の継承を進める神奈川の会」主催「2017年 戦争の加害」パネル展を見たのがきっかけで毒ガス問題を考えてみた。毒ガスは種類は様々だが、砒素が中心であり、時間の経過で毒性は減らず、殺傷能力が極めて高い。

旧日本軍が終戦前後中国と日本国内に遺棄した毒ガス兵器の被害が両国で拡大している。もれたものに触れたり、汚染水を飲んだ市民が深刻な神経障害や、やけどに苦しんでいる。

生活保障や医療支援に対する日本政府の対応は腰が重く、日中の被害者と訴訟に発展することが多い。3歳の長男が「後遺症で将来が台無しになった」「毒ガスを埋めた近くの井戸水でミルクを溶かし飲ませた子ども4人が発達障害だと医師に言われた」等など。また中国チチハル市で毒ガス事故に巻き込まれた母娘が来日。日本政府は3億円の治療費を支払ったが、個人補償は日本としてしない立場をとった。今後これらの後遺症が心配で恒久的な対策が必要だ。

福岡県大牟田市では「爆発ゼキリ事件」と言われて、712名が死亡した事件が起き、毒ガス爆発と言われながら未解決に終わった。

ベトナム戦争では、「枯葉剤」の原料が、大牟田の三井東庄で造られた日本製のものと同一と判明した。日本の軍需兵器産業は財閥系が中心であるのは今後も変わらないと思う。戦争は環境・人権の大敵である事にまちがいない。(毒ガス研究者・石宏一郎資料参考)

(国枝 健)

地球温暖化と私たちの未来

2月18日、温暖化防止講演会での趣旨を纏めたもので講師は、国立環境研究所気候変動リスク評価研究室長 江守正多さんです。

○温室効果ガス濃度と世界の平均気温・海面水位は20世紀に急激に上昇している

○近年の世界平均気温の変化傾向 2000~2014年 横ばいのように見えるが長期的には上昇傾向

○8つの主要なリスク 1海面上昇 2洪水 3台風など 4熱波 5食糧不足 6水不足 7海の生態系の損失 8陸の生態系の損失

〈低炭素都市ふじさわをめざして〉

○適応策 既に起こっている/将来予測される気候変動及びその影響に対して、損害を和らげ、回避し、又は有益な機会を活かそうとする調整の過程。

例：水災害・水資源⇒治水の強化、ハザードマップ
農業⇒作付けの変更、品種改良

熱中症⇒エアコン、熱中症警報 など

・適応策は、多かれ少なかれ実施する必要がある

・社会の強靱さ向上、特に途上国の開発のための政策に組み込むことが重要

○将来の気温上昇と対策の長期目標 「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べ2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求する」
気候変動枠組み条約 COP21パリ協定(2015年)

○「2℃未満」目標を達成する排出削減経路 「今世紀後半に人為的な温室効果ガスの排出と吸収源による除去の均衡を達成する」 気候変動枠組み条約 COP21パリ協定(2015年)

○Climate Justice (気候正義)

・今まで温室効果ガスを排出してきたのは先進国(と新興国)

・最も被害を受けるのは貧しい途上国や弱い立場の人たち+将来世代 ⇒ 気候問題は国際的な人権問題であるという認識で、社会運動が起きている。

○排出削減策のメニュー ・省エネ、再生可能エネルギー+安定化(系統強化、蓄電等)、原子力(+事故リスク、廃棄物等の課題対応)、火力発電の高効率化→CO2回収貯留、燃料利用の電化、水素化、バイオマス化、森林減少の抑制、植林、さらに革新的な技術?、さらに革新的な社会構造変化?

○Q. あなたにとって、気候変動対策はどのようなものですか?→a. 多くの場合、生活の質を脅かすものである 世界平均 26% 日本 60%
→b. 多くの場合、生活の質を高めるものである 世界平均 66% 日本 17%

○「脱炭素化」はイヤイヤ努力して達成できる目標ではない→社会の「大転換」が起きる必要がある。「大転換」⇒単なる制度や技術の導入ではなく、人々の世界観の変化を伴う過程。例：産業革命、奴隷制度の廃止

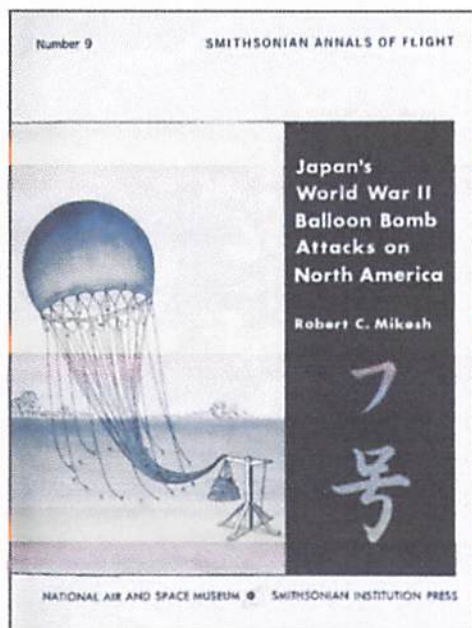
○身近に起きた「大転換」の事例としての「分煙革命」

(黒田 亘)(次号へ続く)

ジェット気流発見にまつわる話

(シリーズ9. 戦況の悪化)

戦況はというと、1942年6月にミッドウェー海戦にやぶれ、状況が悪化しつつあった。そこで日本軍は、一度成功した経験をもとに潜水艦でアメリカ本土の干き。ほどまで近づき、そこから直径6呎程度の風船爆弾を飛ばす「フ号作戦」を考案した。しかしこの作戦は、戦況がさらに悪化するなかで断念せざるを得なかった。1944年10月には戦艦武蔵が撃沈され、直後に神風特攻隊が結成された。偏西風を利用して長距離を飛行する風船爆弾の作戦は、こうした状況のなかで計画され実行に移されることになった。



風船爆弾計画に関する学術的な説明文書が幾つか存在する。最も総合的なものは、スミソニアン研究所の後援で刊行された報告(Mikesh, 1973)である(表紙を図に示す)。これらの資料から、風船爆弾の詳細な構造と兵器としての使用方法がわかる。それにしても、強い西風の存在がどのように認識されていたのだろう。(つづく)……………
林 陽生(NPO シティ・ウォッチ・スクエア理事長)



映画「太陽の蓋」

福島原発事故が起きた3.11からの
5日間を描く

3月11日(土) 14:00- 18:00-

茅ヶ崎市役所分庁舎6階コミュニティホール
前売り券 800円 当日券 1000円 主催/問合せ
チームみつばち 090-9328-3799 亀田



第4回 ふじさわ平和文化展

3月28日(火)～4月2日(日)

藤沢市民ギャラリー(ルミネ藤沢店6階)

主催:藤沢平和文化展実行委員会 0466-33-4003

テロ等準備罪＝共謀罪ってなに

講師 海渡双葉さん(弁護士)

3月9日(木)18:30 参加費 500円

藤沢市民会館 第2展示ホール

主催 秘密保護法廃止をめざす藤沢の会

連絡先 090-9239-0864

藤沢エコネットから

◆前号2月号の訂正しお詫びします。2ページ冒頭
和37年7月16日年→昭和37年7月16日

◆北部方面開発の現地見学会

3月25日(土)10:00 集合

湘南台駅東口集合 参加費 300円

車の手配のため必ずお申し込みください

◆会員募集＝年会費・購読料→2000円

ゆうちょ銀行 (9900) 店番 (029)

当座預金 0046501 フジサワエコネット

◆事務局会議3月10日(金)13:30～

六会市民プラザにて

《編集後記》ゴミを撤去に費用がかかるなどで大阪府豊中市の国有地9億円余りを8億円差し引いて払い下げた森友学園の学校用地問題にあきれる。盛んに議論されているがなぜ?である。3年前、用途は違うが藤沢でも善行土地問題が起こり、100条委員会に取り上げられたことはまだ記憶に残っている。(H)